

春の雨の悲しみ

- (1) 春雨が 6 日間連続で降った結果、ナンシー・ブラウンの農場を流れる川が荒れ狂った。
- (2) 牛の群れを高台に移動させようとしていたとき、彼女は足を滑らせて木の幹に頭を打ちつけてしまった。
- (3) その転倒によって彼女は一瞬意識を失った。
- (4) 彼女が意識を取り戻すと、最も年老いた牛の 1 頭であるリジーが彼女の顔をなめていた。
- (5) ナンシーは起き上がると進み続けた。
- (6) しかし、水位が急速に上がり、すぐに腰の高さに達した。
- (7) とうとう、ナンシーに出来ることといたら、自分の腕をリジーの首にまわして、しがみつこうとすることだけになった。
- (8) リジーはやっとのことで自分とナンシーを荒れ狂う川から高台の一面にうまく引き上げたのだが、その場所は今では白く泡立つ大量の水の真ん中に浮かぶ小島と化していた。
- (9) 2 時間後、ヘリコプターが救急救命士を降ろし、彼がナンシーをヘリコプターに引き上げて避難所まで運んだ。
- (10) リジーはナンシーが失った 19 頭の牛の 1 頭だった。
- (11) ナンシーは「彼女は私の命の恩人よ」と涙ながらに語った。